

市民意見募集の実施結果について

横浜国立市民病院再整備基本計画（原案）に関して、市民意見を募集いたしましたので、その実施結果等をお示しするとともに、主な意見と意見に対する考え方を添えてご報告いたします。

1 実施概要

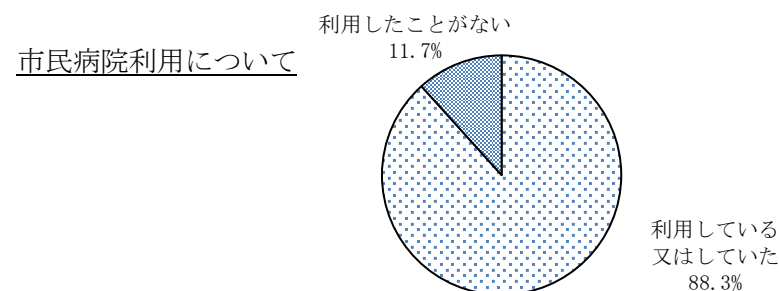
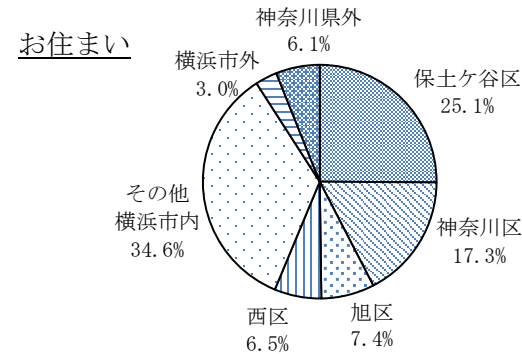
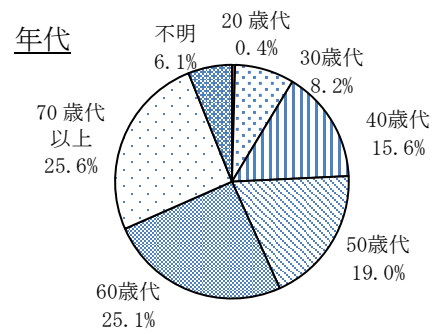
意見募集期間	平成26年7月18日（金）から平成26年8月20日（水）まで
意見提出方法	概要版パンフレットに添付のはがき、電子メール、ファクシミリ、市民病院内投函箱
基本計画（原案）の公表場所	市民情報センター、各区役所、市民病院、脳血管医療センター、みなと赤十字病院 市民病院ホームページ
基本計画（原案）概要パンフレット配架場所	市民情報センター、各区役所、市民病院、脳血管医療センター、みなと赤十字病院 行政サービスコーナー（2箇所：横浜駅行政サービスコーナー、二俣川駅行政サービスコーナー）、PRボックス（6か所：横浜駅、三ツ沢上町駅、三ツ沢下町駅、和田町駅及び市民病院内（2箇所））、市バス
主な周知方法	記者発表、市民病院内特設コーナー、市民病院ホームページ、市民病院内放送 広報よこはま8月号、神奈川新聞「市民の広場」掲載、地域情報誌（タウンニュース） ツイッター

2 実施結果

意見提出者数		231名	
提出方法	パンフレット添付はがき	67名	市民病院内投函箱 134名
	電子メール	24名	その他 5名
	ファクシミリ	1名	
意見数		444件	
項目別	1 新しい市民病院のコンセプト・概要	99件	2-e（患者支援体制） 9件
	2 新しい市民病院の主な機能	2-a（救急医療の充実） 12件	2-f（患者などから選ばれる病院） 52件
			2-g（誰でも利用しやすい施設整備） 5件
	2-b（小児救急医療、周産期医療）	5件	3 事業スケジュール 12件
	2-c（総合的ながん対策）	27件	4 事業費・収支シミュレーション 22件
	2-d（災害、感染症）	7件	5 その他 194件

※「意見提出者数」は、はがき等1通を1名として集計しています。また、「意見数」については、1通のはがき等に複数の意見を記入されている場合、その数を全て集計しています。

（参考：ご意見をいただいた方について）



3 市民意見と意見に対する考え方

市民意見につきましては、今後ホームページ等で公表し、市民の皆様にお知らせいたします。項目別における主な意見と意見に対する考え方は、次のとおりです。

1 「新しい市民病院のコンセプト・概要」などについて	
○「計画地選定の経過を詳しく示したほうがよいのではないでしょうか」、「駅から徒歩5分以内の場所が望ましい」 など計画地に関連した意見（23件）	（計画地関連） 再整備計画地の検討にあたっては、庁内の検討委員会や外部有識者からなる経営評価委員会、市会に対して説明、ご意見をいただきました。こうした経過を経て、現病院に近く、診療圏や連携する医療機関などへの影響が軽微であることや病院と公園が一体となった災害対策機能の向上が図れることなどから、現在の三ツ沢公園の一部を活用した計画地へ移転することを計画しています。計画地選定の検討経過の詳細については、市民病院ホームページからもご覧いただけます。
○「もっと病床数と外来患者数（今後高齢化のため増えると思う）を増やすことを提案します」、「土地が広がるのに病床数と外来患者数が増えないのが理解できない」 など病床数・外来患者数に関連した意見（9件）	（病床数や外来患者数関連） 高齢化の進展により患者数は増加が想定されますが、患者への身体的・経済的負担の少ない低侵襲な治療の普及や医療機関の機能分化・集約化、地域連携などにより入院・通院期間が短縮することで増加する医療需要に対応できるものと見込まれます。
2-a 「救急医療の充実を図り、より多くの救急患者を受け入れます」について	
○「救急医療の充実、より多くの救急患者を受け入れる」、「救急のたらい回しがない環境を整備して頂きたい」 など救急医療の充実に関連する意見（9件）	限られた資源を有効に活用し、医療機関の機能に応じた役割分担を図ることが必要です。市民病院では、二次、三次救急医療を中心に多くの救急患者を受け入れることを基本としつつ、救急患者の需要にはできる限り対応し、救急車応需率についても最大限の向上を図ります。
2-b 「小児救急医療の充実、周産期医療の機能強化を図ります」について	
○「異常分娩への対応して頂ける病院が増えることで、不安解消へもつながる」、「高齢出産に対応してほしい」 など周産期医療に関連する意見（3件）	NICU、GCUの増床やハイリスク分娩の増加への対応など、周産期医療機能を強化します。分娩環境の整備を図るとともに、横浜市産科拠点病院として、産科医療の中心的な役割を果たしていきます。
2-c 「検診から緩和ケアまで総合的ながん対策の充実・強化を図ります」について	
○「検診から緩和ケアまで総合的ながん対策の充実、強化に期待」、「緩和の病床数を増やしてほしい」 など検診・治療・緩和ケアに関連する意見（27件）	今後も総合的な病院の強みを生かし、検診、治療、緩和ケア等のがん対策機能を充実します。緩和ケア病床を増床するとともに、在宅医との連携の強化を進めます。
2-d 「大災害・感染症などに対して、最前線で医療提供を行います」について	
○「病院と公園の一体型ということも、入院患者の環境面や防災という点で高く評価できます」、「災害時は防災拠点として位置づけ、十分な施策を盛り込むべき」 など大災害などに対する医療提供に関連する意見（6件）	計画地は、広域避難場所や広域応援活動拠点に指定されている三ツ沢公園に隣接することから、公園施設等も有効に活用して災害医療の中核的施設としての機能を整備します。

2-e 「地域全体で患者を支援するための体制を整えます」について	
○「後方病院等への転院についてはどうなるのか」、「医師間での連携をスムーズにとってほしい」など地域全体で患者支援するための体制に関連する意見（9件）	入院前からの事前相談や在宅療養相談、連携施設との調整等を一元的に行う患者総合サポートセンター（仮称）を整備します。急性期の治療から、在宅医療や介護に至るまで、地域全体で一貫して患者を支援していくことができる面的連携体制の整備を進めます。
2-f 「患者や医療従事者などから信頼され、選ばれる病院となります」について	
○「待ち時間を減らしてほしい」、「どこで待っていても、順番が来たら分かる様にしてほしい」など待ち時間短縮に関連する意見（18件）	（待ち時間短縮関連） 待ち時間の短縮に向けては、現病院でも可能な限り改善し、再整備にあたっては、予約枠の増設や設定方法の見直し、採血室などの増設、体制の強化などを図ります。やむを得ず待ち時間が生じた場合でも、院内のカフェやレストラン等で快適にお過ごしいただけるよう診療時間案内システムを導入します。
○「医師、看護師、検査技師、事務職等の意識改革が必要」、「患者に対するホスピタリティに欠ける人が多い」など職員に関連する意見（13件）	（職員関連） 病院はサービス産業であることを意識して、職員一人ひとりがホスピタリティを持ち、一歩進んだ心のこもったおもてなしを提供することが求められます。研修等を通じて接遇の向上を図るとともに、患者・家族からの意見などを迅速に把握し、改善や意識改革につなげていく必要があると考えます。高度な知識・技術や専門性とホスピタリティを兼ね備えた職員の育成に取り組んでいきます。
2-g 「人にも環境にも優しく、誰でも利用しやすい施設を整備します」について	
○「建物のつくりを複雑にしないで、シンプルに、また、順路などがわかりやすくしてもらいたい」などレイアウトに関連する意見（3件）	現在の市民病院は、改修を繰り返してきたことにより、動線が複雑で非効率となっている部分が多くあります。新病院では、様々な機能を効果的・効率的に発揮するために、人や物の流れ等を重視した配置計画とします。
3 「事業スケジュール」について	
○「早く建つのを期待します」、「建設費の高騰、工期の遅れの懸念あり」など開院時期に関連する意見（11件）	現在の市民病院は、施設・設備の老朽化・狭あい化等の状況を踏まえると、適切な医療提供に支障が生じかねないことから、一刻も早く再整備を進めたいと考えています。開院時期は、同じ規模の病院の整備状況を参考にした場合、平成32年度となる見込みです。

4 「事業費・収支シミュレーション」について	
○「効率性、合理性を大切に。ホテルのような豪華な施設は不用」、「市民の負担増になるような無謀な新築は止めるべき」など事業費や収支に関連する意見（22件）	企業局として、自主・自立的な経営が成り立つことを前提として、市民に対して良質な医療を提供し続けていくことが不可欠です。事業費については、最大限のコストダウンを追求することを前提として、市のルールの中で一般会計が負担している経費については、再整備を行う場合でも大幅に増大しないように事業計画を検討しています。その結果、収支についても、持続的な経営を行っていくことができる水準になるものと見込んでいます。
5 その他	
○「バスの便を考えてほしい。本数を増やしてほしい」、「新しい病院は、相鉄線・地下鉄からは遠く不便になります。是非バスを通してください」などバス便に関連する意見（31件）	（バス便関連） 横浜駅からより至近となるため、利用できるバス便も増加します。また、主要駅からの交通アクセス向上のため、既存バス路線の見直しや新たな路線確保について交通事業者と協議します。
○「現在通院の際の駐車場不足で不便を感じていましたので、十分な台数が用意されることを希望します」、「雨の日など天候が悪い日にも濡れないで病院に入れる工夫を考えていただきたい」、「周辺道路を混雑させないように」など駐車場に関連する意見（35件）	（駐車場関連） 駐車場は、来院者の利便性に加えて、周辺交通対策にも配慮する観点から、できるだけ多くの台数を確保します。また、患者や送迎、付添いの方などが、安全かつスムーズに病院にアクセスできるよう、構造や動線に配慮したものとします。バスロータリーや駐車場の設置に際しては、交通渋滞等による周辺環境への影響、交通安全やバリアフリー化の視点などにも配慮し、既存道路の改良等についても検討します。
○「ニッパツ三ツ沢球技場の騒音対策を万全にしてください」など防音対策に関連する意見（16件）	（防音対策関連） 計画地は、ニッパツ三ツ沢球技場に隣接していることから、病院を利用する方とサッカー観戦等を含めた公園利用者がお互いに快適に利用できるようにしていくことが重要であると考えます。病院建物の外壁についてはコンクリート厚15cm以上を確保するほか、窓については、開口面積の調整、遮音性能の高いサッシなどによる減音手法の採用など、快適な療養環境を確保するための対策を講じます。また、病院と公園が接する空間は、オープンスペースとし、それぞれが持っている機能やスペースを活かしながら、魅力の向上を図ります。

再整備基本計画(原案)の修正内容について

「横浜市立市民病院再整備基本計画(原案)」に関して、市民意見等を踏まえて、追記・修正を行い、「横浜市立市民病院再整備基本計画」を策定しました。主な修正箇所については、次のとおりです。なお、計画の追記・修正を行ったもの以外についても、ご意見の内容を設計などの段階で十分検討していきます。

(1)「救命救急センター機能の強化」について(関連意見数:9件)		P13
【趣旨】 「救命救急の充実、より多くの救急患者を受入れる」といったご意見を踏まえ、その内容を反映	【内容】 救命救急センター機能を持つ医療機関として、二次、三次救急医療を中心としつつ、救急患者の需要には可能な限り対応し、救急車応需率についても最大限の向上すること等について追記。	

(2)「がん治療体制の充実・強化」について(関連意見数:27件)		P17~P18
【趣旨】 横浜市中で平成26年10月1日に施行される「横浜市がん撲滅対策推進条例」を踏まえ、その内容を反映	【内容】 「横浜市がん撲滅対策推進基本条例」が施行され、総合的ながん対策を推進することが求められていることを追記。また、条例の概要等についてのコラムを追記。	

(3)「ホスピタリティの向上」について(関連意見数:11件)		P24
【趣旨】 「病院関係者の意識改革が必要」といったご意見を踏まえ、その内容を反映	【内容】 患者から信頼される病院として、将来にわたって良質な医療を提供するためには、ホスピタリティの向上も極めて重要であることなどの内容を追記。	

(4)「患者負担の少ない外来診療環境の整備」について(関連意見数:24件)		P25
【趣旨】 「待ち時間を減らしてほしい」といったご意見を踏まえ、その内容を反映	【内容】 予約枠の増設や設定方法の見直し、診察室や採血室等の増設、効率的な配置などの検討を行うことで、待ち時間の短縮を図ることなどについて追記・修正。	

(5)「交通アクセス」について(関連意見数:50件)		P26
【趣旨】 「バス便を考えてほしい。便数を増やしてほしい」「駐車場を増やしてほしい」といったご意見を踏まえ、その内容を反映	【内容】 交通アクセスに関する内容を「人に優しい病院」の項目から「患者から信頼され、選ばれる病院」の項目へ移し、独立した項目として記載。バスの増便や十分な台数の駐車場の確保等について追記。	

(6)「建築計画」について(関連意見数:37件(うち21件は(5)と重複))		P63
【趣旨】 「駐車場を拡張してほしい」、「雨の日も濡れずに病院に入れる様にバス停を設置してほしい」といったご意見を踏まえ、その内容を反映	【内容】 駐車場の台数を「400台以上」とし、来院者の利便性、周辺の交通対策にも配慮すること、患者、送迎、付添いの方などが安全かつスムーズに病院にアクセスできるよう構造や動線に配慮したものとすることなどを追記・修正。また、これらに合わせて、配置イメージ図や断面図を修正。	

(7)「環境対策」について(関連意見数:16件)		P69
【趣旨】 「ニッパツ三ツ沢球技場の騒音対策を万全にしてください」や「防音対策を徹底してほしい」といったご意見を踏まえ、その内容を反映	【内容】 病院と公園それぞれが持っている機能やスペースをお互いに活かしながら、魅力の向上を図ることや、適切な療養環境を維持しつつ、観戦にも影響が出ないように配慮することなどを追記	